

## 令和7年度第4回小櫃・上総地区公民館運営審議会会議録

- 1 会議名称 令和7年度第4回小櫃・上総地区公民館運営審議会
- 2 開催日時 令和8年3月10日(火)  
14時30分から17時00分
- 3 開催場所 君津市松丘コミュニティセンター 大会議室
- 4 出席委員 【小櫃地区選出】丸山副委員長、木下委員、三橋委員  
出席委員 【上総地区選出】石井委員長、大野委員、緒形委員、田中委員  
事務局 【小櫃公民館】藤平館長、會澤副主査、島津主事  
事務局 【上総公民館】森本館長、潤米松丘分館長、相川亀山分館長  
早田主査、今井公民館主事、池田主事
- 5 欠席者 本忠委員
- 6 傍聴人 なし
- 7 会議概要 下記のとおり

1 開会（進行 今井公民館主事）

2 公民館長挨拶（森本館長）

3 議題

【石井委員長】

それでは議事に入らせていただきます。

では議題（１）令和7年度事業報告（12月～3月）について事務局の説明をお願いします。

なお、質疑は両館の説明後に一括して行いますので、ご承知おきください。

【藤平館長】

\*資料1-1 令和7年度事業報告（P1～49）及びスライドショーを用いて説明。

【森本館長】

\*資料1-1 令和7年度事業報告（P50～90）及びスライドショーを用いて説明。

【石井委員長】

ありがとうございます。ただいま事務局の説明が終わりましたので質疑を行いたいと思います。活発な議論にできればと思いますので、ぜひご協力をお願いします。

まず私から発言させていただきます。小櫃でも上総でも歩きがテーマの主催事業を実施しましたが、地元であっても車で移動することがほとんどですので、歩いてみて初めて分かるという場所がいっぱいあるということに気づかされました。今まで車で通り過ぎていただけで、歩いてみるとほかのいろいろなものが見えてくるということもあり、とても良かったと思います。

【三橋委員】

私は走ったり、歩いたりすることが趣味で、この間の「上総の“山”と“歩く”を楽しむ教室」と小櫃の「おしゃべりウォーク」の両方参加させていただいての感想なのですが、やはり車で通り過ぎるのと実際に歩いてみるのでは全然違って見えると感じました。

上総地区の方では久留里は名水が売りですから、いろいろな井戸があることは知識として持ってはいましたが、その井戸が実際にどこにあるのかとか、愛宕神社は車では行けない場所ですので、普段であれば行かない場所を実際に見て、そして、くるりボランティアガイドの会の方や叢会の方など地元の方が持っているいろいろな知識やお話をお聞きすることができて、普段の生活では見えないものや聞けないものが情報として入ることで、地域の魅力を再確認できたのはすごく良かったと思います。

小櫃地区の方では、普段ランニングで走っているときに会う地元の方から地域の川や山、井戸のことなどいろいろ聞いていたこととお話ししたところ、参加された方からは、今まで知らなかったことや知っていたことに別の方向から知識の上乗せになったという話を聞いています。

また、現地でたまたま会った地元の方にお声をかけてお話を聞いたりする場面もあったりして、公民館の室内で実施する講座も非常に重要であると思いますが、外に出ることで地域の人たちと実際にふれあい、公民館と地域がつながる要素があるということが今回の事業を通して分かりました。

#### 【木下委員】

資料に目を通させていただいて、アンケートの結果などでも利用者の方からの声や外部の方からの声がたくさん集まっているというのは感じたのですが、一方で昨年度から今年度にかけて公民館の職員の人員が減った中で事業を一年間やってみて、不都合を感じるようなところがあったのかお聞きしたいです。

学校の方でも働き方改革を進めていて時間外勤務などは無くしていきましよう、少なくしていきましようという流れがある中で、例えば、今年度一人あたりの時間外の勤務が増えているような現状があるようでしたら、声を上げていかなければいけないと思いますので、そのところをお聞かせください。

#### 【森本館長】

上総公民館の中での話になりますが、一人あたりの業務量については増えており、時間外勤務についても増えています。

予算との関係もあります。事業の内容を精査したり、事業を実施するにあたって効率化できるところは効率化したりしていかなければならないと考えております。

#### 【藤平館長】

小櫃公民館の場合、地域づくり協議会の会議を行うにあたり、職員の打ち合わせを行い、その後運営委員との打ち合わせ、そして本番の会議というような3段階踏む形になっており大変な負担になっていることや、昨年は職員が4人体制であったところを3人体制で回しているというところもあり、一人ひとりの負担が増えているのが現状です。

なるべく効率よく工夫をしながら各自が事業を進めているところではあるのですが、先ほど森本館長も申したいように、次年度さらに予算の面でも厳しくなってきた部分もありますので、ただ単に仕事を減らすということだけでなく、地域の課題などもきちんとすり合わせをしたうえで、進めていく事業とストップをかける事業について精査することが重要になると考えております。

また、頑張りすぎて職員が潰れてしまうというのは本意ではないので、交互に年休を取得するなど、なるべくリフレッシュしながら仕事に取り組むことを心掛けているところです。

#### 【三橋委員】

そのことに関連してですが、昨年度まで校長経験者の方が館長を務めていらしゃったのが、今年度は現職の職員の方になったということで、いろいろ大きな変化があった中で、今まで学校の先生だから地域の方とつながりを持つことができましたが、現職の職員がそこに代わって対応するとなると今まで通りに進まなかったり、今年度は大変だったと思います。

今年度は何とか一年うまく回せて良かったけれども、来年度以降どうなのかというと、市の予算と人事に大きく左右されてしまい、今後公民館としての機能が縮小していってしまうと、地域にとってマイナスになってしまうので、そこが非常に難しいところだと思います。

さきほど藤平館長がおっしゃったみたいに、公民館の職員の方が地域の人たちと寄り添ったり、いろいろ対応したりすることが重要であると同時に、職員の負担となってしまうのが非常に難しいところだと思います。

ただ、公民館の方が地域の人と寄り添う形で関わって対応してくれたことで、若い人を中心に、自分たちでいろいろやってみようというような力が生まれてきたり、そういう人が育ってきたりしているのも少し見えてきているので、人と人とのつながりを作っていくことで、仕事が減るとまでは言えませんが、うまくことが進んでいくのかなと感じました。

先ほどの事業報告の中で小櫃公民館の方は参加者の声や姿があったのですが、上総公民館で利用者の変化などあれば教えていただきたいです。

#### 【今井公民館主事】

上総公民館では、青少年からお年寄りの方まで、いろいろな方を対象とした事業を行っておりますが、特に大人のことについて申し上げますと、高齢化率が50%を超えている地域ですので、大人が誰でもどうぞという風にしても、どうしても公民館に来られるのはお年寄りが中心になってくるという状況がございます。

今回A Iの講演会を実施したり、講演会に先立ってアンケートを実施し、200件以上の回答をいただいたり、施設予約システムの利用促進といった形でICTの活用を重点テーマとして事業を実施してきました。

その中で、年齢を理由にICTの活用を諦めている方も地域の中にはいらっしゃるかなと思うのですが、公民館を利用される方の中には、「使い方が分からないけれども、分からないなりにできるようにになりたい」とか、「暮らしの中に活用できたら便利なのではないか」という思いをもってきてくれる方がすごく多くなったように感じます。

施設予約システムが今年の2月に新しいものへと移行して、最初は、「操作が分からない」という方も多くいらっしゃったのですが、分からないことは恥ずかしいことではないから一緒にやってみようと呼びかけた結果、最初は気おくれする様子も見られたのですが、最近は「システムの操作方法を教えてほしい」というような形で公民館に直接来て、職員がマンツーマンで教えることも増えてきています。

A IやICTの学習を契機に「少しでも新しいことをできるようにになりたい」ということを話される方も増えてきたと感じております。

#### 【石井委員長】

最近上総公民館へ行って2階のフリースペースとかを見ると、中学生か高校生か子どもたちが結構遊びに来ている様子がよく見られますね。

高齢の方だけでなく、若い方も含め新しく公民館を利用される方が増えてきたのかなという印象があります。

この前の「上総の“山”と“歩く”を楽しむ教室」でも上総地区以外から来られた方もいたかと思いますが、どれくらいの人数が地区外から来られたのでしょうか。

#### 【今井公民館主事】

参加者26名のうち、13名が地区外ないし市外の方でした。

#### 【三橋委員】

この前の「上総の“山”と“歩く”を楽しむ教室」で市外から参加された方が、公民館事業の募集の仕方について、地域限定でやっているのか市外にも周知しているのかを聞いていらっしやいましたよね。

#### 【今井公民館主事】

知り合いから誘われて参加されたという方から、公民館事業の募集の情報について、もっと広く周知してほしいというなお話がありました。

その際、公民館には対象区域が決まっておりますので、地区内の方だけにお声をかけたい場合は、回覧板に絞ったり、また今回の「上総の“山”と“歩く”を楽しむ教室」のように地域の内外の方に広く地域の魅力を知っていただくという事業に関しては、回覧のほかホームページや公式LINEや市のメール配信サービスなどを使って広く周知をしたりするなど、事業と目的によって周知方法の使い分けをさせていただいているということをお話しさせていただきました。

#### 【石井委員長】

メールなどは様々な方が閲覧しますので、公民館を普段使わない層への周知の方法としては非常に良いと思います。そういうところから新しく公民館を利用される方が増えてきているのかなと思いました。

ほかにご意見ございますか。

#### 【丸山副委員長】

小櫃公民館の事業にも参加させていただいて、楽しませていただいております。

その中で、回覧板などを見ていて感じることもありますが、小櫃公民館の趣味教養講座の「犬と人が、もっと心地よく暮らすための講座」など、普段公民館を使わない方に対し、公民館を利用してもらうための接点を作ろうという思いでやっているのを強く感じます。

「おしゃべりウォーク」も参加させていただいて、小櫃に何十年も住んでいますが初めて通った道もあったりして、ちょうど地区の境になっている場所では、どちらの地区になるのか聞いたりもしてしまう場面もあったりして、新発見がありました。

いただいた資料の中で、青少年相談員や「あそんべ食堂」の実行委員会の方の負担が課題であるとの文言があって、そのことが気になりました。

小櫃の「あそんべ食堂」について、いろいろな世代の方を巻き込んで、調理を手伝ったり片付けを手伝ったりなど様々な形で参加して、つながるような素晴らしい事業ですので、今後も継続して行ってほしいのですが、朝8時に食材を取りに行ったという話も聞いていて、月1回の開催ですけれども実行委員のメンバーは子育て世代のお母さんが中心ですので、継続していくうえで負担が少し心配に思っているところです。

最初の頃は、夜遅くまでの打ち合わせもあったという話も聞いていたのですが、最近ではLINEでの打ち合わせを実施しているということでしたので、効率化を進めてスタッフの方の負担にならないようにしてほしいと思います。

報告を見ても、青少年相談員は40代くらいの方が中心かなと思うのですが、打ち合わせに時間がかかっている様子が見受けられるので、なるべく負担にならないようにし

てほしいという思いがあります。

また、予算の関係で、資料の中にも来年度は厳しい予算となるという言葉が度々見受けられましたので、今後職員の方の負担もそうですし、予算についてもどうなっていくのか心配だなと感じたところです。

**【石井委員長】**

ありがとうございました。

ほかにご意見などございますか。

議題（１）令和７年度事業報告について議事を終わらせていただきます。

つづきまして、議題（２）「２０歳のつどい」実施報告について事務局の説明を求めます。

**【會澤副主査】**

資料２ 令和８年上総小櫃地区２０歳のつどいの取り組み（Ｐ９１）について説明

**【石井委員長】**

ただいま事務局の説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

**【田中委員】**

２０歳のつどいの参加人数について教えてください。

**【會澤副主査】**

当日の参加者は５３名です。

**【田中委員】**

今後土足で実施する場合、中学校での実施について再考する必要があるとのお話がありました。この規模の場合、上総地域交流センターでの実施は可能なのでしょうか。

**【今井公民館主事】**

まだ、実際に収容できるかどうか検証はしていませんが、先ほど説明がありましたように、来賓の数は今年がピークで徐々に減少していき、また、対象者数についても減少傾向であることを踏まえ、上総地域交流センターも選択肢の一つにはなりうると思います。

ただ、今の時点では、全くの白紙で今回の課題を踏まえて開催会場について改めて検討していくことになります。

**【三橋委員】**

体育館の土足使用の問題ですが、体育館をつくった際にもともと教育委員会の方から床の管理について中学校に話があって、ワックスも指定のものを使用するなど、細かいルールが定められたにもかかわらず、今回急遽シートを敷いて土足での実施になり、現場は非常に混乱したのではないかと思います。

学校施設開放で市民が使う際にも、床の管理について厳しく言われることもあるので、会場を変えることも一つありますが、中学校で土足での実施については今後教育委員会でしっかりと対応しないと混乱を与えてしまうと思います。

**【丸山副委員長】**

今回小櫃地区が会場になったことで、上総地区の方から残念がるようなご意見などはありましたか。

**【森本館長】**

20歳の皆さんは上総小櫃中学校に通っていましたので、私の知る限りはそういった声はありませんでした。

**【丸山副委員長】**

20歳のつどいの会場をどこにするかという話について、2～3年前から公民館運営審議会の中の議題にあって、上総地域交流センターは来賓や保護者の方たちのことを考えると、駐車場の数が足りないことが問題として挙がっていたと思います。

駐車場の問題が解決するのであれば、上総地域交流センターでの実施する形でもよいのではないかと思います。

**【田中委員】**

私も久留里駅前イベントなどを行っているのですが、久留里駅前の交流広場を駐車場として利用できますし、ほかにも駐車場として利用できる場所があると思いますので、駐車場の問題については解決できるのではないかと思います。

**【石井委員長】**

駐車場については、課題として公民館と教育委員会で協議していただければと思います。

それでは、議題（2）20歳のつどい実施報告についての議事を終わらせていただきます。

続きまして議題（3）「地域住民が主体の『地域づくり』を推進する公民館活動」について事務局の説明を求めます。

**【森本館長】**

議題3に係る追加資料 令和7・8年度審議テーマ「地域住民が主体の『地域づくり』を推進する公民館活動について」の中間まとめについて説明。

**【石井委員長】**

事務局から今年度の議論の経過及び共通認識の確認について説明がありました。ご意見などはございますか。

**【三橋委員】**

さっきの話の続きになりますけど、資料に書いてありますけど、実際やっていくのは大変ですよ。

### 【森本館長】

公民館では事業を様々な世代の方を対象に実施していますが、今回、市全体のことですけれども、地域づくりというのが一つのテーマになっていて、それを公民館でどうアプローチするかというときに、公民館が実際事業を行うのではなく、あくまで主体は地域住民の方であり、公民館は伴走的役割で行っていくということです。

今までのやり方とは違うのですが、将来的なことも踏まえて、地域住民の方が主体となって事業をやっていくことも良いのではないかとということで、こういったテーマを共通認識でやってきたいと考えております。

### 【三橋委員】

例えば小櫃のことでいうと、4地区に分かれていた土地改良区が来年から統合されるのですが、そういうことが起きるとなると地域の方は生活が懸かっている部分のことですので、地域に大きな影響があります。

市の方針としては、地域のいろいろな方を参加させて、様々な意見を聞きながら公民館運営を含めた地域づくりを進めていこうという話をしてはいますが、先ほど一つの例として農業を挙げましたけども、公民館の方でそういった地域の情報を網羅してまとめあげるとなると、1回の会議を行うにあたり2回ぐらい打ち合わせが必要になり、相当負担になると思います。

地域住民が主体となって地域づくりを推進する公民館活動について、資料にあるように進めば良いのだけれど、地域に落とし込んだ際に、実態として公民館に負担が相当行ってしまっているなというのを感じますので、そういった現状を知っていただきたいです。

### 【田中委員】

この地域づくり協議会というのは、市にいくつあるのですか。

### 【今井公民館主事】

地域づくり協議会の制度について説明させていただきます。

地域づくり協議会というのは、地域を元気にしていくためのまちづくりの制度ということで、「地域のために活動していこう」、「地域を良くしていこう」という方たちが集まって、新たな組織を作って、地域で活動するものになります。

こちらについては、基本的に市の制度としては、公民館の対象地区ごとに一つ作れる形になっていて、あくまでも「作ってください」とか「作りなさい」というものではありません。地域の中からこういう制度に乗っかって地域づくりの組織を作っていこうという方が少しずつ現れ、地域の中で機運が高まってきたところで、説明会を実施します。説明会を受けた後に、作ってみようという方たちが設立の準備会を作り、その準備会の議論を重ねていった中で、地域でこういう組織を作っていこうということで組織を設立し、市の認定を受けて、地域づくりの協議会ができるという制度になっています。

地区によっては、もう既に立ち上がっていて活動を始めている地域づくり協議会もあれば、今のところまだそういったお話は出ていないというような地域もあります。

市内の状況について申し上げますと、清和地区で最初に地域づくり協議会が立ち上がりまして、その次が周西地区で立ち上がっております。

今、もう少しで設立するところが小櫃地区になっておりまして、八重原地区で今後準備会が設置されているというような状況になっております。

以上簡単にはなりますが、地域づくり協議会の制度についての説明は以上です。

**【田中委員】**

ありがとうございます。

**【三橋委員】**

市の方で一律に一斉に始めているのではなくて、やれるところから始めていて、私と田中さんが関わっている学校運営協議会と同じですね。

地域づくり協議会や学校運営協議会のような地域住民で地域のことをみんなで考えて、いろいろな方向性を出していこうという考えは良いのですが、一方でそれまでその地域を支えていた地域の動きがあって、そのすり合わせや整理する役割を公民館が引き受ける形になってしまったというのが今の状況なのでしょうね。

公民館運営審議会で一年間審議してきた結果として、中間まとめの資料のようにまとめなくてはいけないと思いますが、今言ったようなことが実態としてあり、簡単なものではないということを知っていただきたいと思います。

**【石井委員長】**

国や市の掲げている地域住民が主体の地域づくりの活動の理想と今起きている実態とではかなりギャップがあり、地域住民が主体といっても公民館は当然関わっていく必要があるけれども、どこまで公民館が関わっていくのか整理しながら進めていく必要があるということですかね。

ほかにご意見などございますか。

**【丸山副委員長】**

地域づくり協議会の設立準備会を一年間やってきましたが、実際にいつ頃に地域づくり協議会として立ち上がる目安はあるのでしょうか。

また、地域づくり課や地域市民センターとの連携についても教えてください。

**【藤平館長】**

現在は地域づくり協議会の設立準備会の段階で、6月頃に総会を実施する予定です。

これまで会議を実施する際に、地域市民センターの所長にも出席いただくなど連携しながら取り組んでいます。

**【石井委員長】**

様々な意見や話も出ましたが、質疑についてはここまでとさせていただきます。続きまして審議テーマに係るモデル事業について事務局の説明を求めます。

**【會澤副主査】**

資料3-1 モデル事業「地域づくり協議会伴走支援」について（P92～93）について説明。

**【森本館長】**

資料3-2 モデル事業「上総の“山”と“歩く”を楽しむ教室～久留里編～」とその後の取り組みについて【上総地区】（P94～96）について説明。

**【石井委員長】**

ただいま事務局の説明が終わりましたのでこれから協議を行います。本日は、これまで議論してきた内容を踏まえて、私たち公民館運営審議会委員が考える「地域住民が主体の『地域づくり』やそれを推進する公民館活動」とは何かを定義付け、モデル事業を通して、次年度に検証していきたいと考えております。

公民館からの説明の中で示されたイメージやモデル事業についても参考にさせていただきながら、活発な議論をお願いできればと思います。

**【三橋委員】**

公民館の事業に参加させていただいての感想になるのですが、ウォーキングの事業としては、安全管理もしっかりされていて、またくるりボランティアガイドの会の皆さんの川廻しの説明や、叢会の浅間山遊歩道の整備の活動などを知ることができたほか、地域外の方が参加者の半分ほど参加されて地域の魅力を知ってもらう機会となり、非常に良かったのではないかと思います。

ただ、残念だったのが、地域に住んでいる方の参加や関わりが限定的であったのが気になりました。

例えば、愛宕に住んでいる方からお話を聞く機会があれば、自動車教習所の近くに宿泊施設のようなものができたりして地域に変化が起きていることや、愛宕神社も丁寧に草刈りをされていてすごく歩きやすかったですけど、地元の方の関わりなどについて話す機会ができれば、皆さんの住む上総地区について、より一層理解するきっかけになったのではないかと思います。

**【石井委員長】**

先日叢会の方が清掃活動をしている際、挨拶をさせていただきましたけど、この前の「上総の“山”と“歩く”を楽しむ教室」に参加して、地域でこういう活動をされていることを知ることができましたし、また立派な神社が地域にあることを知ることができてとても良かったです。

**【田中委員】**

その日は予定が入っていて、私も本当に参加したかったのですが、参加できなくて申し訳ありませんでした。

久留里に住んでいて、知らないところもたくさんまだまだあると思いますし、亀山や松丘のことも知りたいという思いもあるので、また都合が合えばぜひ参加したいと思います。

また、先ほど三橋委員からお話もありましたけれども、地域の方の参加や関わりについても計画をする際に検討していただければと思います。

**【緒形委員】**

当日参加する予定でしたが、前日に体調を崩してしまい、急遽お休みさせていただきました。

私も愛宕神社の近くに住んでいるのですが、まだ二回ほどしか行ったことがありませ

ん。もしまた機会があれば、久留里や松丘や亀山を実際に歩いてみたいと思います。  
また、今後小櫃のあそんべ食堂についても参加してみたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

**【石井委員長】**

ほかに意見もないようですので、議題（３）「地域住民が主体の『地域づくり』を推進する公民館活動」についての議事を終わらせていただきます。

続きまして議題（４）公民館の開館時間・休館日等について事務局から説明を求めます。

**【森本館長】**

資料４ 公民館、地域交流センターの開館時間、休館日等の見直しについて（P 9 7）及び公民館の開館時間、使用料金などについてのアンケートについて説明。

**【石井委員長】**

ただいま事務局の説明が終わりましたので、これから質疑をお受けいたします。

第３回での審議会でも説明のあった件であり、先ほど説明いただいたようにまとまったとのことですので、ご意見、ご質問があればお願いします。

**【三橋委員】**

これから検討して、まだ先の話になるとは思うのですが、利用料金は現金で集めるのでしょうか。

**【森本館長】**

現在は、公民館サークルにつきましては無料で、会社の会議など有料で貸し出す際は、納付書を渡して金融機関で払っていただいています。

ただ、すべての方に利用料を負担していただくととなると、毎回納付書を渡すというのも難しいので、窓口で現金払いといった形も検討していく必要があると考えております。

**【三橋委員】**

利用料金の徴収方法を決めるのが一番大変になると思いますので、しっかりと協議して決めていただければと思います。

先ほどの話と共通するのですが、公民館で現金を扱うのは、今は少額のコピー代くらいだと思うのですが、本格的に利用料金を徴収するとなると、収納事務などで職員の方の負担が増えてしまうのではないかと思いますので、利用者のアンケートを尊重するのもそうですが、公民館で働く職員の方の意見もしっかり聞いてもらったうえで決めていただきたいです。

利用者の意見としては、お金も取られるし、公民館のサービスが低下したということになるとお互い困ると思いますのでよろしく願いいたします。

**【石井委員長】**

ありがとうございます。

市民センターでも現金は取り扱っていると思いますので、そちらを参考にしてはどうでしょうか。

**【森本館長】**

市民センターは、住民票や戸籍謄本などの各種届出や申請事務を毎日のように取り扱っており、預かった現金は都度金融機関に納めています。

公民館の場合、コピー代については現金を取り扱っているという話が出ましたが、毎日利用があるかというところではないので、利用があったときに都度金融機関に納めております。

令和8年度以降、有料化の是非や徴収の仕方などについても検討していければと思います。

**【丸山副委員長】**

有料化は決定ではないのですよね。

**【森本館長】**

市全体の方針としては、受益者負担として、使った方にお金を納めていただく考えがありまして、公民館だけではなく、ほかの施設も利用者負担の方向で検討しています。

そのため、公民館でも有料での貸し出しについて今後検討していく段階になります。

**【木下委員】**

このアンケートを見て感じたことを話させていただくと、税金を納めているのだから無料で利用できるという理解の方が多いと思いますので、どこまでが公共サービスで、どこからが受益者負担なのかというところをしっかりと説明をしていかなければならないと思います。

料金の徴収方法の話も先ほど上がっていましたが、仕事量を考えると電子決済一択かと思いますが、現状対応できる方がまだ少ないというような課題もありますので、そのあたりの周知を進めていかなければいけないのかなと思います。

おそらくは、学校の体育館の開放もゆくゆくは有料になっていくのかなとも思っておりますが、先ほど述べたことを感じているところです。

**【石井委員長】**

ほかにご意見などございますか。

それでは、質疑については以上としたいと思います。

(4) 公民館の開館時間・休館日等について議事を終わります。

以上をもちまして、議事がすべて終了いたしましたので議長の任を解かせていただきます。

それでは進行を事務局にお返しします。